



## 8月9日 長崎原爆の日

1945年（昭和20年）のこの日、私たちが住むこの長崎は、たった1発の原子爆弾により、1945年12月末までに73,884人が死亡、74,909人が負傷という甚大な被害を受けました。

そして、復興を目指し歩み続けた長崎。このまちがどのような状況になったのか、どのような被害があったのか。私たちは、長崎に住む者として、多くのことを学んできました。本校でも、平和学習を展開し、様々なことを学んできました。平和フィールドワーク、講師の先生方をお招きしての探究活動や学習発表、そして城臺美彌子様による被爆体験講話。

平和公園では、長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典が開かれ、100を超える多くの国や地域からの参列があります。本校からも4名の生徒が参列しました。

そして校内では、平和実行委員会が中心となって平和集会を実施し、各学年の代表生徒が平和学習の成果を発表しました。

11時2分、黙祷。だれしもが、世界の現状に目を向けたり、これからの未来に思いをはせたり、日常生活について振り返ったりと、様々な思いを巡らせたのではないかと思います。

ところで、3日前の8月6日には広島市で平和記念式典が行われましたが、その中で2人の小学生が「平和への誓い」を述べました。その中にこのような内容がありました。

相手の気持ちを想像し、意見の違いがあっても認め、受け止めること。

平和への思いを、自分なりの方法で表現すること。一人一人の小さな行動が、平和への後押しとなります。」

今日の学びは、原爆のことを学ぶだけの日ではありません。平和を創造する、平和な日々を創っていくためにどうしたらよいかを考えていく日でもあると思います。「平和」というものは、日常生活のありふれた場面からも学ぶことができるのかもしれませんが。皆さんは、今日、どのようなことを思い、どのようなことを考えたのでしょうか。

## 7/31 原爆殉難教え子と教師の慰霊式

原爆で犠牲になった子どもたちや先生方を慰霊する式典が平和会館で行われ、私もこの慰霊式に参加させていただきました。

この慰霊式は、1982年に「原爆殉難教え子と教師の像」を建立したことをきっかけとして、毎年開催されているものです。

原爆で命を失った方々のことを思い、決して忘れることがないようにという願いとともに、決して過ちが繰り返されないことがないようにという祈りを込めて献花をさせていただきました。



1 学期終業式で学年代表の皆さんが発表した内容です。改めて2学期に向けて、意識を高め、よりよい生活を築いていきましょう。

### 1学期を振り返って 1年 さん

学級委員としての1学期を振り返ると、たくさんのことを学ぶことができたと同時に、自分自身の反省も見えてきました。学年集会での司会進行や発表ではとても緊張していましたが、事前の準備のおかげでやり遂げることができました。しかし、クラスのまとめ方には課題が残っていると考えています。みんなを静かにさせたいときにどのように声をかければよいかわからず、うまく声をかけることができませんでした。それでも、大運動会実行委員が中心となった大運動会ではクラスが一つになって練習に取り組み、1年2組は学年優勝をすることができました。クラスみんなが一生懸命協力してくれたおかげで1学期を終えることができ、仲間への感謝の気持ちでいっぱいです。2学期は、学級委員の経験を生かし、周囲を牽引できるように自らの声掛けを頑張っていきたいです。

次に、学年全体の1学期の成長として、放課後の教室整備が挙げられます。毎日、机が並んでいるかや黒板がきれいにととのっているかなどの10項目が満点になるように取り組んでいます。どのクラスも毎日、整備部を中心に、高得点を維持するよう努力しており、とても良い学年だと思います。その一方で、課題も見えてきました。昼休みに過度に騒ぎすぎてしまっているところや、休み時間と授業のメリハリがついていないということです。これは、公私の区別がついていないということが原因だと考えます。2学期は、学級委員や生安部だけでなく、一人一人が自分で自分をコントロールするという意識をもち、周囲の人への配慮や、時間の管理に気をつけて行動することが必要です。

これらの経験や反省を踏まえ、2学期はさらに成長していきたいです。1学期よりさらに成長するために、学年目標の「学び合い、助け合い、高め合い」を意識して日常の行動や言動に責任を持って行きます。1学期で学んだことを活かし、さらに良い、学級、学年になれるように努力を続けていきましょう。

### 1学期の反省と2学期に向けて 2年 さん

私たち2年生は、2年重点努力目標である「互いを認め合うことができる生徒になる」という目標に向かって1学期を過ごしてきました。その中で、この学年が伸ばしていきたい点と目標について話します。

まず、この学年が伸ばしていきたいところは、授業中に先生が言ったことに対してしっかり反応したり、行事に対して全力で取り組んだり、明るく、元気で活気のあるところです。一方で、3・2・1運動がいまだにできていない人がいたり、自習中にすぐに集中力が切れてしまう人がいたりするなど、様々な課題があります。

私たち2年生は、明るい人、リーダーシップがある人、本を読むのが好きな人、人と話したり遊んだりするのが好きな人など、いろいろな個性を持つ仲間がいます。だからこそ、その一人ひとりの個性を伸ばしていけるような集団になる必要があります。そのためにも、日々の生活を見直し、互いを認め合い、集団の一員として貢献できる生徒になることを目指し、2学期にある合唱コンクールや修学旅行などの行事に向けて、1日1日を大切に過ごしたいです。

### 1学期の反省と2学期の抱負 3年 君

僕は、今年、初めて学級委員を務めさせていただきました。学級委員の仕事を通して、皆をまとめる経験を積むことができました。そして、1学期間、クラスの様子を観察し、学級の課題と長所に2つずつ気づきました。

まず、学級の課題について述べます。一つ目は、反応や発言をしている生徒が固定化されているということです。二つ目は、自分たちで考えて行動できる人が少なく、周りの人に流されているということです。例えば、授業中に誰かが最初に発言するまで、ほとんどの人が発言をしないというところがあります。また、生安部の呼びかけがないと、時間を気にすることを忘れ、3・2・1運動を自分たちですることができないというところもあります。これらの反省点を改善するために、2学期は、全員が臨機応変に対応し、行動する勇気を持つということを徹底していきたいです。

次に、学級の長所について述べます。一つ目は、授業の雰囲気明るく、クラスメイトが発表した後に、自然と拍手が沸き上がるということです。二つ目は、1・2年生の時と比べて、積極的に実行委員などのリーダーに立候補する人が増えたということです。これらの長所を2学期にも活かし、継続できるようにしたいです。

最後に、1学期学級委員として、3年生の皆さんに2学期に意識してほしいことを伝えます。3年生全員が、最高学年という自覚を持ち、1・2年生のお手本となるような行動を心がけてください！また、中学校生活も残りわずかとなります。自分たちの言動に責任を持ち、1日1日を大切に過ごしていきましょう。



今年はかなり暑い夏となっています。また、熊本では7月28日の地震で多くの方々が被災されています。改めてお見舞い申し上げます。

さて、生徒の皆さんは充実した夏休みを過ごしているでしょうか。夏休みも多くの行事やイベント等で皆さんが活躍する姿を見ることもでき、とてもうれしく思ったところです。

## 長崎県中総体・九州大会報告

7月25日（土）から県中総体が行われ、本校生徒が4競技に出場しました。そして、陸上競技では さんが九州大会に出場し見事6位入賞を果たしました。

選手の皆さん、そして熱心に応援してくれた部員の皆さん、保護者の皆さん、大変お疲れさまでした。一生懸命な姿がきっと感動を呼び起こしたことと思います。

|             |                    |                        |
|-------------|--------------------|------------------------|
| ○女子バスケットボール | 1回戦 対平戸中 85-25（勝利） | 2回戦 対祇園中 39-90（惜敗）     |
| ○陸上         | 共通女子100mH 第2位      | ⇒ <b>九州中学校陸上大会 第6位</b> |
|             | 共通女子走高跳 第5位        | 第7位                    |
| ○剣道         | 男子個人 3回戦惜敗         | 女子個人 1回戦惜敗             |
| ○水泳         | 男子1500m自由形 第10位    |                        |

## 8/2(日)オーケストラ部 第19回定期演奏会

この日の午後、市民会館でオーケストラ部の第19回定期演奏会が行われました。

入学式や大運動会等で素晴らしい演奏を披露してくれているオーケストラ部の皆さん。この日もすてきな音色で観客を魅了しました。第Ⅰ部の後には諏訪管弦クラブの皆さんの演奏、そして、第Ⅱ部の後半では生徒と先生方がダンサーとして登場し、会場を盛り上げていました。

本番に向けて、日々熱心に練習を重ねたことと思います。一人ひとり、その成果をしっかりと発揮したことでしょう。

生徒の皆さん、指導されたお二人の先生、そして日頃から応援してくださっている保護者の皆様方をはじめ、この演奏会にかかわってくださった皆様方に改めて感謝申し上げます。



## 駅伝競走大会に向けて

1学期の終わりころから、駅伝の練習も始まりました。

今年度は10月1日（木）にベネックスかきどまり総合運動公園で行われます。

熱い中、朝早くから練習し、汗を流している皆さんは、きっと高い目標をもって取り組んでいることと思います。指導している先生たちも一緒に走っている姿が見られ、一体感も感じられます。

今年も上位入賞目指して頑張ってほしいと期待しています。



## 7/18(土)伊良林校区まつり

この日、夕方から伊良林校区まつりが開催されました。43回目を迎えるこのまつりは、地域の皆さんが時間をかけて準備を進め、例年大盛り上がりを見せています。

本校からは和太鼓部が出場し、力強い演奏でオープニングを飾りました。そして放送部の4名の生徒によるスムーズな進行や生徒会・美術部・PTAの出店等、多くの皆さんが参加しました。

協力してくれた生徒の皆さん、先生方、PTAの役員さんをはじめ保護者の皆さん、ありがとうございました。暑い中、大変お疲れ様でした。



## 7/23(木)第76回「社会を明るくする運動」長崎地区中学・高校生弁論大会

「社会を明るくする運動」は、犯罪・非行の防止と立ち直りの支援について理解を深め、犯罪や非行のない明るい地域社会を築くための全国的な運動です。毎年7月はこの運動の強調月間として位置づけられています。

この日の午後、ブリックホールで弁論大会が開催されました。

長崎市・西彼杵郡の中・高生が参加し、本校からは3年生の君が「暴力をなくすために」と題して発表を行いました。自分自身の経験とともに、暴力に関する出来事や今の社会の課題等について述べるなど、堂々と落ち着いた口調でのすばらしい発表でした。



## 令和8年度いわき市派遣事業

長崎市では、生徒会リーダー研修会として、福島県いわき市の生徒たちとの交流会を毎年8月に行っています。

今年度は、2年ぶりに長崎市の生徒がいわき市を訪問し、中学生との交流を行うとともに、東日本大震災の実装や復興の道のりについて学びを深めることとなりました。本校からは、2名の生徒が8月1日～4日、本事業に参加しました。震災遺構である浪江町立請戸小学校、東日本大震災・原子力災害伝承館、いわき震災伝承みらい館などを訪れ、多くのことを学んだことでしょう。福島県の川内村と本市樺島町のコッコデショが深いつながりを持っていることも知ったようです。

10月には市役所で報告会を行うとのこと。いわき市で学んだことをぜひ私たちにも教えてほしいと思います。

### 震災が結んだ長崎と福島縁

長崎市では長崎の氏神である諏訪神社の秋季大祭として「長崎くんち」が毎年10月に開催され、国指定重要無形民俗文化財に指定されています。7年に1回、長崎市樺島町(かばしままち)の太鼓山(たいこやま)「コッコデショ」が奉納され、街中を回りながら披露する「庭先回り」を行います。

写真は2018年に奉納された太鼓山「コッコデショ」の様子です。

太鼓山応援団が、東京電力福島第一原子力発電所の30キロ圏内にある福島県川内村へ手紙でエールを送ったことがきっかけとなり、長崎大学を通じて同村からやぐらの材料となるヒノキの無償提供を受けて、写真のやぐらが作られました。

#### 【コッコデショ】

4名の太鼓打ちが座り、屋根に大きな座布団を5枚積み重ねた「太鼓山」を36名の若者が担ぎ、力強い掛け声と太鼓の音と共に廻したり放り上げたりする勇壮な出し物です。